

紙ふうせん

KAMIFUSEN No.81

成田市立図書館だより 第81号

2016年(平成28年)3月31日発行

編集 成田市立図書館

〒286-0017 千葉県成田市赤坂 1-1-3

☎ 0476-27-4646 (自動応答)

0476-27-2000 (直通)

<http://www.library.city.narita.lg.jp>

FAX 0476-27-4641



2015年12月13日(日)に、公津の杜分館においてクリスマスおはなしかいを開催しました。
子どもたちは、お菓子作りを体験し、お菓子が出来上がるまでの間はおはなしを聞いて楽しみました。

(紙面紹介)

- ・ 図書館文学講座『詩と音楽のコンサート』

講師：詩人 谷川 俊太郎氏

ピアニスト 谷川 賢作氏

- ・ 図書館市史講座『明治「学制期」における小学校の創設と下総地区4小学校のあゆみ』

講師：元成田市史編さん委員 神尾 武則氏

香取市文化協会連合会会長 島田 七夫氏

- ・ 公津の杜のクリスマスおはなしかい

お菓子作り指導：井上 シルヴィア氏



平成 27 年度 図書館文学講座 2015.9.19(土)

「詩と音楽のコンサート」

谷川 俊太郎氏(詩人)、谷川 賢作氏(ピアニスト)



平成 27 年度の文学講座は「詩と音楽のコンサート」と題して、講師に谷川俊太郎氏と谷川賢作氏をお迎えしました。今回はもりんぴあこうづの MORI×MORI ホールを会場とし、当日は約 200 名の聴衆で満席になりました。ホールには俊太郎氏による詩の朗読と賢作氏によるピアノの生演奏が響き、参加者は豊かな詩と美しいピアノの音を堪能しました。



楽しい演奏とトークで、素敵なひと時となりました

コンサートでは「まね」「男の子のマーチ」「なくぞ」「せんそうしない」「さくしゃ」など 30 タイトルの詩や曲が披露されました。

朗読と演奏の間には、読書の話、お仕事の話、日々の生活の中で感じたことなど、お二人の軽快なトークが聞き手を沸かせました。



朗読された詩は、図書館にあります

こちらの本に収録されています。ぜひご利用ください。(データは 2016 年 2 月現在のものです)

『みみをすます』福音館書店 1982 年

「みみをすます」を収録

『みんなやわらかい』大日本図書 1999 年

「まる」を収録

『誰も知らない』国土社 2002 年

「まね」「ひとくいどじんのサムサム」を収録

『谷川俊太郎自選詩集 1、2』集英社 2005 年

「男の子のマーチ」「うんこ」「生きる」を収録

『すき』理論社 2006 年

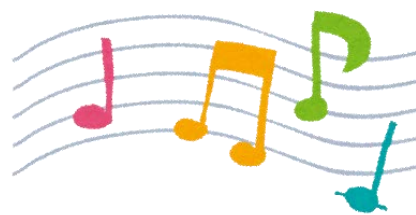
「ほん」「ほん また」「まり」「まり また」「はこ」「はこ また」「ひも」「ひも また」を収録

『詩の本』集英社 2009 年

「運命」「地球」「雪」を収録

『自選 谷川俊太郎詩集』岩波書店 2013 年

「ごちそうさま」「なくぞ」「おならうた」「百三歳になったアトム」を収録



『いちねんせい』小学館 1988 年

「わるくち」を収録

『せんそうしない』講談社 2015 年





神尾 武則 氏



島田 七夫 氏

市史講座 2015.11.29 (日)

『明治「学制期」における小学校の創設と下総地区4小学校のあゆみ』

講師 神尾 武則 氏 (元成田市史編さん委員)

島田 七夫 氏 (香取市文化協会連合会会長)

第30回を迎えた市史講座は、初めて「学校」をテーマに、図書館2階の視聴覚ホールで開催しました。

講師のお二人は、公立の高等学校・中学校の校長先生をお務めになられた方で、現在は成田市史調査員をされています。

講演はまず、元成田市史編さん委員の神尾武則氏から「学制期における埴生郡域の小学校創設について-最初の3小学校-」と題してのお話がありました。

明治時代に旧成田市域が属していた埴生郡において、最初に3つの小学校が創設され、その3つの小学校について、その成り立ちや変遷などのお話を伺いました。

続いて、香取市文化協会連合会会長の島田七夫氏からは、「所蔵資料から見る下総地区4小学校のあゆみ」と題したお話を伺いました。

下総地区に130余年の歴史を刻んだ滑河・小御門・名木・高岡の4小学校が、平成26年春に小中一貫教育校「下総みどり学園」に統合されました。その4小学校に遺されていた貴重な資料について、特に「郷土誌」や「学校日誌」

をもとに、当時の学校の様子などを振り返りながらのお話でした。

両氏とも、備え付けのOHC(教材提示装置)で配布資料や原資料をスクリーンに映しだし、まるで学校の授業を受けているような雰囲気でした。

学校と子ども、学校と保護者、学校と地域、時代によって変化はありますが、改めて、小学校のあゆみが、地域の歴史とともに密接にあるということを考えさせられる講演でした。

当日は、63名の方々にご参加をいただき、講演会終了後に寄せられたアンケートは、今回も回答率7割を超え、参加者からの様々な感想・意見からは、関心の高さや興味の深さが伺われました。

また、後日、講演会に参加された方から、ぜひ我が家に眠っている昔の資料を市史編さん・市史研究に役立てて欲しいと寄贈がありました。

この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



公津の杜のクリスマスおはなしかい

2015.12.13(日)

お菓子作り指導 井上 シルヴィア氏



焼きあがったクッキーにジャムをはさみます



絵本の読み聞かせに聞き入っています

平成27年度の「公津の杜のクリスマスおはなしかい」は、もりんぴあこうづ内のキッチンスタジオを会場として開催しました。みんなでお菓子作りをしながら、生地が焼ける間に絵本やおはなしを聞くという、少し特別なおはなしかいです。図書館でも初めての試みでしたが、当日は14名の小学生が参加しました。

お菓子作りを教えてくださいました井上シルヴィア先生は、メキシコのご出身。メキシコでのクリスマスの過ごし方のお話を聞いて、さっそくお菓子作りに取り掛かります。今回は南米の伝統的なお菓子・アルファフォレスを作りました。アルファフォレスは、クッキーにミルクジャムをはさんだ甘いお菓子です。

型抜きした生地をオーブンに入れたら、みんなで部屋の隅に集まります。おはなしのろうそくに火が灯ると、おはなしかいの始まりです。今回はクリスマスにぴったりの絵本『アンナの赤いオーバー』と、おはなし「こびとのくつや」を聞きました。

いい香りがしてきて生地が焼きあがったら、最後の仕上げをします。クッキーの間にはさむミルクジャムは、コンデンスミルクを缶ごと煮詰めて作ります。周りにココナッツパウダーをまぶしたら、アルファフォレスの完成です！おうちへのお土産にする分を取り分けて、さっそくお菓子をいただきます。先生がシナモンを使ったメキシコ風のココアもいれてくださり、ちょっとしたお菓子パーティーになりました。

最後に、図書館から今回のおはなしかいのプログラムと、フェルトで作ったクリスマスの飾りをプレゼントしました。クリスマス前のひと時、お菓子の甘い香りに包まれた、とても楽しいイベントになりました。

アルファフォレスを作ってみよう！！

『つくって楽しい！世界のスイーツ4』

宮沢 うらら／著 汐文社

『どんな国？どんな味？世界のお菓子6』

服部 幸應／監修・著 岩崎書店

※「アルファホール」又は「アルファホーレス」で記載されています。

編集後記

毎年恒例の文学講座、市史講座には多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。また、今年度が初めてとなるお菓子作りのあるおはなしかいも盛況に終わることができました。図書館が開催するイベントは、ホームページなどでお知らせしております。みなさまのご参加をお待ちしております。

成田市立図書館だより	No. 81
発行	成田市
編集	成田市立図書館
〒286-0017 千葉県成田市赤坂 1-1-3	
	☎ 0476-27-2000
発行日	2016. 3. 31
登録番号	成教図 15-049